

令和元年度（2019年度）

決算審査講評に対する対応調書

佐久広域連合

令和元年度（2019年度）決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況（関係課の対応）	関係課
①	FMラジオを媒体とした観光振興事業は、リスナープレゼントを拡充し、フェイスブックのフォロワーを増やすなど、時流に即した情報拡散に努力し、成果をあげられていた。3年目が終了し一段落したところだが、制作したフォトブックなどを活用し、今後も引き続き佐久地域全体のPRに努められたい。	観光振興事業については、紙媒体とSNS媒体の戦略的な連携により効果的な情報発信に努めるとともに、佐久地域全体のPRのため、関係市町村との広域連携を引き続き図ってまいります。	<事務局> 庶務課
②	視聴覚教材の活用について、市町村によって活用度合が異なる。市町村や学校の要望を確認し、できるだけ多く活用してもらえようような取り組みを検討していただきたい。	公民館や学校職員からなる視聴覚ライブラリー専門部会の教材活用部会において、教材の活用に向けた取り組みを推進します。	<事務局> 庶務課
③	介護認定・障害者支援区分認定については、審査件数が多い中、公平かつ公正な審査認定に配慮されており、今後も必要な人が必要なサービスを受けられるようお願いしたい。	介護及び障害支援区分認定審査会の実施にあっては、今後も関係市町村との連携を密にし、引き続き公平かつ公正な審査会を運営するよう努めてまいります。	<事務局> 福祉課
④	成年後見・障害者相談支援センター事業については、引き続き市町村と連携を図り制度の周知と活用に努められたい。	成年後見支援センター事業については、認知症、知的障がい、精神障がい等の理由により、財産管理や日常生活に支障がある方の財産と権利を守るため、引き続き業務委託先である佐久市社会福祉協議会、組織市町村、福祉サービス事業者等と連携を図り、成年後見制度の周知と活用に努めてまいります。 障害者相談支援センター事業については、引き続き、組織市町村、障がい福祉サービス事業者等と連携を図り、障がい福祉制度の周知と活用に努めるとともに、地域課題を明確化・共有化することで、地域の実情に合った支援体制の整備に努めてまいります。	<事務局> 成年後見支援センター 障害者相談支援センター
⑤	日々の業務の中では、携わる職員の知識や技能の向上のための取り組みが大事になってくる。そのために、非常に多くの研修を行っているが、個人の要望を大事にしながら、職員の士気・向上心が高まる環境づくりとともに、雇用機会均等の趣旨から、もっと女性が活躍できる職場づくりに取り組んでいただきたい。	団塊世代の職員が大量に退職し平均年齢が若年化する中において、人材育成の観点からも効果的な教育及び研修に取り組み、専門性ある知識・技術の習得に階級並びに年齢構成、各署のバランス、個人の希望を考慮したうえで、質の高い組織力の向上を目指した人材育成と環境づくりに心掛けます。 また、女性の活躍できる職場づくりにおきましては、幼少年期からの消防署のイベントを通じ、女性職員の活躍紹介を交え、将来、消防士としての選択肢となるPRを重ねることや、就職説明会においても、消防に興味や好感を得られる説明に努め、国の目指す女性職員5%目標に準じ採用広報を行い、採用後は職場と家庭（育児）の両立に過度なストレスとならない環境づくりに取り組みます。	<消防> 消防本部・各消防署

令和元年度（2019年度）決算審査講評に対する対応調書

No.	講評要旨	措置状況（関係課の対応）	関係課
⑥	消防業務では、通常では使用しない特殊な装備や機器を使用している。そういった備品は、金額も高額になることから、更新計画が整備され、計画に基づく更新が図られていることが確認できた。今後も引き続き更新計画のローリングを行うとともに、現有備品の有効活用を図りたい。	資器材や装備品につきましては、更新ありきの雑な扱いではなく、常に愛護的に取り扱うことに心掛け、現有備品の有効活用に努めます。修繕等により器材性能が保たれる限り使用し、特に高額になる備品におきましては、老朽化による性能が担保できない資器材においては、更新計画に基づく中で優先度を考慮した整備を行います。	<消 防> 消防本部・各消防署
⑦	行事等において、地域の皆様に協力していただき、地域ぐるみで運営していくという考えは非常に良い。継続して取り組みをお願いしたい。	地域の施設としてどのような役割を担っていくべきかを念頭に置きながら、季節行事への地域住民の参加や避難訓練の協力など、引き続き地域ぐるみの施設運営に取り組んでまいります。 文化祭、夏祭り等の施設が主催する行事や総合防災訓練への地域住民の参加、ボランティアの受け入れの他、施設に暮らす利用者も地域の一員として、地域行事や地域清掃活動等にも参加しております。地域に根差した施設を目指して、今後も継続して取り組んでまいります。	<施 設> 特別養護老人ホーム豊昇園 特別養護老人ホーム塩名田苑 救護施設清和寮
⑧	いずれの施設も入所者の重度化並びに高齢化の進行と職員確保の困難など施設運営は厳しい状況にあるが、接遇に留意し入所者が安らかに過ごせるよう職務に精励いただきたい。	入所者に安らかに過ごしていただけるよう、一人ひとりの意見要望を受け止め、心身の変化にも忠実に対応できるよう、専門的ケア・技術の向上を図りながら職務に精励してまいります。 研修等を通じて職員の接遇力の向上を図り、入所者が安心、安全に過ごせるよう職員間連携により職務に精励してまいります。	<施 設> 特別養護老人ホーム豊昇園 特別養護老人ホーム塩名田苑 救護施設清和寮
⑨	今後の継続が困難であるということが既に新聞で報道された。畜産関係者の関心は高いと思われるので、理解と協力を得ながら、譲渡または廃止に向けて尽力をお願いしたい。	食肉流通センターの継続を望む畜産関係者がいることから、譲渡先を探すことを最優先に努めてまいります。 譲渡先が無い場合は、利用者、関係者の理解と協力を得ながら、廃止に向けて尽力してまいります。	<食肉流通センター> 食肉流通センター
⑩	年休の取得率が低いことが確認された。職員の処遇改善・労働条件の向上のため、組織として目標を定め、年休の取得率の向上を図りたい。	年休取得目標を定め、それに基づき年次休暇取得計画表（期間・日数）を作成し、職員の取得に向けての意識付けを図りつつ、期間ごとに取得状況の確認をし、目標達成に努めます。 各所属の実情を踏まえる中で、休暇を取得しやすい環境づくりを発信し、職員自身が休暇取得に引け目を感じ躊躇することが無いよう、職場の福利厚生と安全衛生に基づき積極的な休暇取得に取り組めます。 年休が取得しやすい勤務体制を確保するため、業務日課等の効率化を図るなど、年休取得率の向上に向けて精励してまいります。	<事務局> 庶務課・福祉課 <消 防> 消防本部・各消防署 <施 設> 特別養護老人ホーム豊昇園 特別養護老人ホーム塩名田苑 救護施設清和寮